

サポートセンター通信

No. 86

発行日：2020年3月16日 第86号

発行元：松本市市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階

TEL/FAX : 0263-88-2988

Mail : support-center@support-center.jp

URL : http://www.support-center.jp

NPO セミナー報告

1月15日から毎週水曜日、5回にわたってNPOセミナーを開催しました。昨年度のNPOセミナー受講者のアンケートを参考に、NPO法人化にかかわる講座はもちろん、「資金調達」「会計処理」「イベントの組立て方」「広報活動」について学びました。

第1回の講師には日本政策金融公庫の菊谷幸仁氏と、長野県県民文化部県民協働課の佐藤尚子氏をお迎えし、融資やNPO法人化についてのお話をいただきました。第2回目以降はNPO法人えんのわより大塚佳織氏(第2・5回)、山田直美氏(第3回)、山田勇氏(第4回)をお迎えし、自身の経験、今までに培った知識や情報を伝えていただき、グループワークなどを挟みながら分かりやすく学びました。

受講者は、どなたも熱心に講師の話に耳を傾けていましたし、セミナー終了後には講師へ質問する方もいらっしゃいました。

また、回を重ねるごとに受講者同士の交流をする姿がみられ、セミナーへ参加したからこそその出会いがあったのではないかと嬉しく思います。

平日午前の開催にも関わらず、5回連続で参加された方もいて、活動への意識の高さがうかがえました。

皆様の今後の活動に活かされることを願いたいと思います。(犬飼)



市民活動商店街を開催！

2月16日の日曜日、松本地域で地域づくりや市民活動を行う団体が、活動や思いを伝える『市民活動商店街』を開催しました。同日、Mウイングで開かれた「未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い」の一環として行っており、今年で4年目となります。当日は、NPOや地縁団体、地域づくりインターンなど14の団体がブースを出して活動を紹介し、団体間の交流も深めました。

午前中の講演と午後の分科会の間“1時間半”という短い時間でしたが、交流企画のスタンプラリー福引も盛り上がり、楽しいひと時となりました。



新型コロナウイルス感染症対策について

新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い、市民活動サポートセンターは、令和2年3月4日(水)～3月17日(火)まで閉鎖をさせていただいていますが、**3月24日(火)まで**延長させていただきます。今後の状況によっては、さらに延長される可能性がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ご不明な点は、松本市市民活動サポートセンターのHPでご確認いただくか、TEL88-2988へお問合せください。

市民活動フェスタ2020について

市民活動フェスタ2020 in 松本「ぼくらの学校」を、10月9日(金)、10日(土)、11日(日)の3日間、松本市市民活動サポートセンターにて開催する予定です。

つきましては5月15日に発行いたします、サポートセンター通信87号でフェスタ参加団体の募集を行いたと思いますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

今後詳細を決定していく予定です。

つなぐ会

代表者：奥家正史

TEL：080-4334-1962

Facebook：「福祉団体 つなぐ会」で検索



＊「ヘルプマーク」を
つけて周知する、
代表の奥家さん

「私は10年前に身体障害者になり、障害者手帳を交付されました。」そう話すのは、つなぐ会代表の奥家正史さんです。

リハビリを経て障害者支援施設に通所していた中で、障がい者になってからでないと見えなかった部分がたくさんあることを痛感しましたが、そのことを発信する人がいませんでした。そのため、自分で発信していこうという強い思いに至りました。その後、その頃に出会った視覚障がいのある方と一緒に、「見えない」を伝えたいという思いで、「ダークネスレストラン」を始めました。

照明を一切つけない暗闇でアイマスクを装着し、視覚を除いた感覚だけで食事をしてもらい、「見えている人」に「見えない状態」を体験していただきます。「見えない」ということが、いかに生活に支障をきたし、人生そのものを変えてしまうのかということの理解を深めてもらい、困っている方へ一声かけられる優しい社会になってほしいと願います。

この活動をきっかけに会を立ち上げ、広く福祉活動や障がい者支援、障がい者理解など、皆で手をつないでやっていこうという気持ちから「つなぐ会」と名づけました。

主な活動は、「ヘルプマークの普及」と「あいサポート運動」です。ヘルプマークとは、援助や配慮を必要

としている方々が、そのことを周囲の方に知らせることのできるマークです。平成29年7月にJIS規格に制定された後、長野県でも広く周知しています。最近はヘルプマークを付けている方も増えてきましたが、まだまだ理解までに至っていないと感じます。電車やバスの中で席を譲ることに加え、優先席への誘導にもぜひご配慮いただきたいと願っています。

あいサポート運動は、「あいサポーター」が「あいサポートバッジ」を日常的に身に付け、障がいのある方が困っているときに手助けを行うことで、障がいのある方は気軽に助けを求められるようにするものです。また、共生社会を実現することの大切さや「あいサポーター」の輪を広げていこうという活動でもあり、そのための「あいサポーター研修」も、地域の学校などで行っています。

これらの「つなぐ会」での活動は、障がい者になったことによる「伝えたい」という強い思いで動かされています。そして、健常者も障がい者も分け隔てなく、一人ひとりを大切にする「共生社会」をつくっていくことの重要性を、伝えていきたいと考えています。健常者の人たちは毎日を当たり前のように過ごしていますが、突然「障がい者」になってしまうこともあるのです。そのことを意識し、この会での活動をより充実したものにするべく、活動資金への募金や支援金などでも、ぜひご協力をお願いしたいです。(樋口)

まつもと震災支援ネット交流学習会報告

2月24日(月)、3月9日(月)「震災から学ぶ、交流学習会」を市民活動サポートセンターにて開催しました。

東日本大震災から9年、震災後に松本市に避難して来られた方2名をお招きし、当時の状況を伺いながら、交流学習会を行いました。避難されて来られた理由は、どちらの方も「放射能汚染から子どもを守りたい」ということが一番でした。実際に、のどの痛みや下痢、鼻血、口内炎などの症状があり、放射能汚染についてインターネットで調べたり、講演会にも参加したそうです。『「大丈夫です。」という情報が発信されていたけれど危機感を感じた。』『震災前に原子力発電所の見学をしていて、その時は1.5メートルの壁で守られているから大丈夫という説明だったが、それが破壊されたことで「これ以上ここに居たら汚染される」という感覚があった。』など、それぞれ原発事故による、見えない物への不安がありました。

避難地域、自主避難、住宅支援制度の廃止。それぞれの状況を抱える中、新たな場所で、生活を安定させるための仕事探し、誰も知り合いがいない中で新たにコミュニティーを創っていくことの難しさなど、多くの困難が載積していることを強く感じました。

震災から9年が経ち、まつもと震災支援ネットの今後の活動の方向性を改めて考えさせられる交流会でした。

支える人たち

『一般社団法人
ドリームペーパーコミュニケーションズ』
柳沢 昭さん

一般社団法人ドリームペーパーコミュニケーションズが主催する「夢新聞」は、自分の夢や目標が実現したことを伝えるワークショップで、「知識の活用」「アクティブラーニング」「助け合い」の力を育む人材育成です。設立から9年、活動範囲は全国に広がっています。理事の柳沢昭さんにお話をうかがいました。



ワークショップの様子

一「夢新聞」とは何でしょう？

自分の夢や目標が実現して新聞に掲載されると仮定して書きます。叶った日付、文章は全て完了形で書き、写真の代わりに絵で表現し、親御さんからのメッセージが記されています。

一具体的にはどのような内容ですか？

子ども達に作り方シートを渡し、大人は新聞作りの指導は一切しません。分からない時には友達同士で教え合って、「助け合い」「学び合い」をしながら完成させます。また、生徒に議論などをさせて主体的に学んでもらうことで、学ぶ力を身につける学習方法の「アクティブラーニング」を取り入れることができます。夢新聞を書くことによって「知識の活用」を養います。ここで大切なことは、夢新聞を完成させることが全員の目標ですが、学んでもらう目的は違います。一人一人の才能や経験を活かし、皆の目標のために助け合うことの大切さを理解してもらうことが目的です。

一始めたきっかけは何ですか？

弊社社長の理事長が、全国夢ケーキ協会の理事長と親交がありました。全国夢ケーキ協会は、子ども達の夢を聞いて、それをケーキに描いてプレゼントをする活動をしています。

2011年東日本大震災の時に、全国夢ケーキ協会は岩手県の仮設小学校で開催しました。私達も同行することになり、その時に開催したのが、初めての夢新聞づくりです。震災で希望を失いかけた子ども達に笑顔を届けたい、という思いから始めました。

一子どもたちの反応はいかがですか？

被災地で夢を語ってもいいのかと思いましたが、子ども達は迎え入れてくれて、明るく接してくれました。そして楽しんでくれました。それがきっかけとなり、地元でも広げていきたいと活動は本格化していきました。現在までに、全国で延べ9,343人が夢新聞を書いてくれました。認定講師も80人にまで増えました。県内では小学校、1/2成人式やシニア大学など老若男女が受けています。

一強く印象に残っていることはありますか？

大人が教えないことで、子ども達が助け合い、そして自由に学び始めます。そんな中、発達障がい児が字を書くことができない時に、友達が字を書いてくれていました。

自分の持っている知識を活用して、友達の夢新聞を助けるというのは、アクティブラーニングによってもたらされる「助け合い」と「学び合い」です。

ぜひ大人の方にも夢新聞を作っていただきたいと思います。

私もその場で体験して、夢新聞を作りたいと思いました。皆様もご縁がありましたら、ぜひ体験してみたいでしょうか。(インタビューアール：林)

サポートセンター職員の素顔を

リレー方式で紹介!!

サポセン スタッフ日記 豊森

みなさんこんにちは。市民活動サポートセンターの豊森と申します。私がここで勤務を始めようと思ったきっかけは、地域市民の方々との関係性を大切にする松本市役所の活動に興味を持ち、それを知るにはうってつけの場所であると感じたからです。

中学生のころに試験勉強や入試勉強のために利用していたことがあり、市民活動サポートセンターの存在自体については知っておりました。しかしながら、当時は、施設の机と椅子以外に全く興味がなく、どのような目的で設けられ、どのような存在意義を与えられていたのかということを知る由もありませんでした。

そこで私は、他の方々にも市民活動サポートセンターのことをもっと知っていただけるように、係る運営に携わってきました。具体的には、ここが「市民協働を推進するための拠点」となることを目的として設けられたのを踏まえて、そのための架け橋となるような対応を心掛けてきました。地域づくりを目的とするテーブルでは新しい発見もあると思います。ぜひ、足を運んでみてください。



■ イベント情報

※状況により、変更や中止される場合もありますので、各団体へお問合せください。

上映会&講演

日時：3月28日(土) 13:30~(開場 13:00)
 会場：松本市中央公民館 (Mウイング) 6階ホール
 資料代：500円(中学生以下無料)
 上映会：道一白磁の人—
 講演：「今、なぜ白磁の人—浅川巧なのか」
 信州渡来人倶楽部代表 李 春浩(いちゆの)
 申込・問合せ：李 TEL090-1691-4485
 豆工房 TEL0263-33-9123
 主催：一我ら皆渡来人—信州渡来人倶楽部
 後援：松本市・信州自遊塾

色育体験会

色で集中力・想像力・コミュニケーション力UPの色育体験&物忘れ予防にも色の活用を一緒に
 会場：松本市市民活動サポートセンター
 時間：10:30~11:30
 日程：3月20日(金)、4月29日(水)、
 5月24日(日)、6月21日(日)
 ※テーマは毎月変わります
 参加費：大人500円、子ども200円
 主催：一般社団法人日本色育推進会 長野色育会
 申込・問合せ：TEL090-4153-5693

SAD サークル Nagano

軽いあがり症~過度な緊張症(社交不安症)の交流会
 対象：10代~40代
 【トーク】
 日時：毎月第2・4日曜日 13:00~16:00
 会場：松本市市民活動サポートセンター
 月会費：500円(学生免除)
 問合せ：宮下 TEL090-6539-1363

令和元年度松本市ボランティア養成講座

『福祉体験学習サポーター養成講座』
 日時：3月26日(木) 10:00~
 会場：なんなんひろば 大会議室(松本市芳野4番1号)
 対象者：市内在住で、「福祉体験学習サポーター」としてご登録していただける方
 募集人数：30名(先着) 参加費：無料
 申込期限：3月21日(金)
 主催：松本市社会福祉協議会
 申込：松本市社会福祉協議会 地域福祉課へ電話または直接お申込みください。
 TEL27-3381(担当：伊藤・塩原・細野)

■ サポートセンターより

パネル展示募集

団体の活動内容を紹介し、情報発信の場となればと思います。初めて申し込む団体はもちろん、昨年度すでに展示をした団体も募集していますので、ご応募お待ちしております。

お問合せ：市民活動サポートセンター
 : 0 2 6 3 - 8 8 - 2 9 8 8

新スタッフ紹介

2月から勤務しております、奥寺と申します。ここに来てから日々多くの方と出会い、活動を知り、勉強する毎日です。まだ知らないことが多く、不慣れな所も見えますが、皆様がスムーズに活動ができるよう精一杯お手伝いしたいと思っております。
 よろしくお祈りします。(奥寺)

イベント情報募集

市民活動サポートセンターでは、イベントや講演会等、募集情報のチラシをお持ちいただくと、サポートセンター内のスタンドへ設置させていただきます。

また、通信や市民活動サポートセンターHPのイベント情報へも掲載いたします。

イベント等の情報発信に、ぜひ、ご活用ください。情報をお待ちしております。

新規登録団体紹介

松本食文化研究会

地産地消の推進、子供、働き世代、お年寄りに合わせた食の研究や、地元の方、観光の方へ松本の素晴らしさを食から発信したい。

Hana-tomo

ハンギングバスケット・コンテナ植えの製作や講習会などを通じ、地域の緑化の促進や子供達への花育を目的とする。

編集後記

早いもので、年度末の3月になってしまいました。残念ながら、プラチナフォーラムは中止となってしまいましたが、NPOセミナー、市民活動商店街とサポセン主催事業が無事に終了しました。

昨年4月は、子供3人の進学が重なり、とても忙しかったことを思い出しました。

今年は落ち着いた新年度になることを期待したいと思います。(犬飼)

プラチナサロン について

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、3月のプラチナサロンは中止とさせていただきます。

4月以降の予定については、決まり次第、情報発信をしていきます。

市民活動サポートセンターHPでご確認いただくか、TEL88-2988へお問合せください。